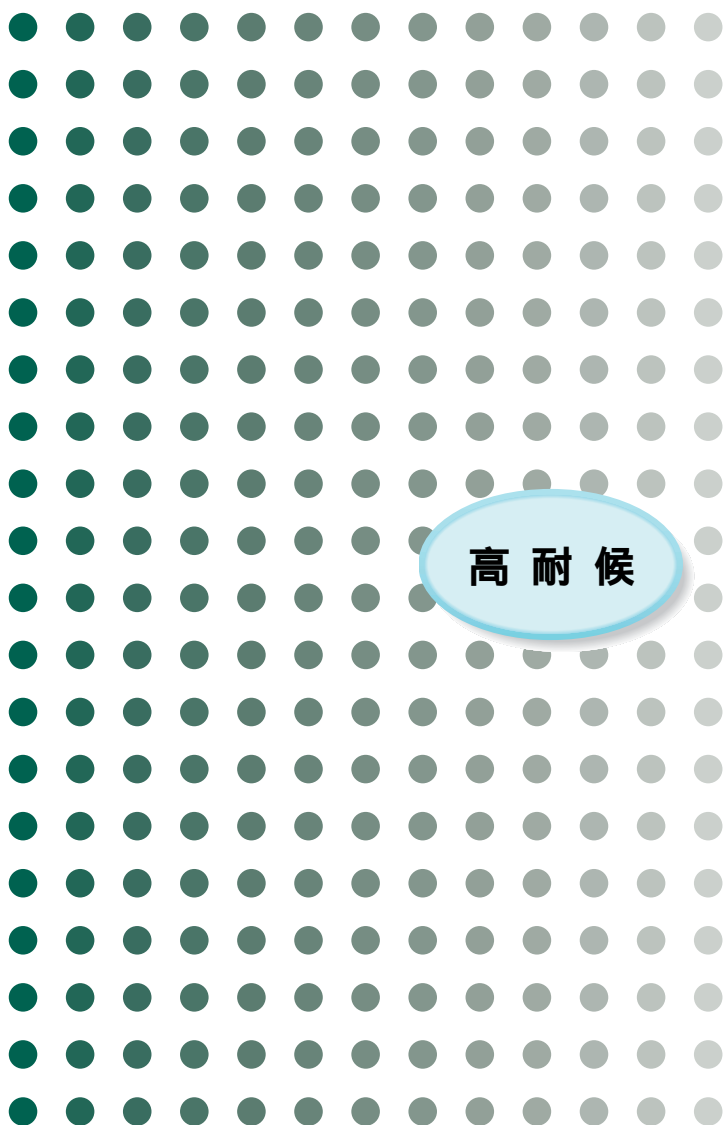


低汚染形セラミック変性ターペン可溶ウレタン樹脂塗料

セラMレタン

Cera M Retan

JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料 3級



防カビ
防藻

高耐候



低汚染

提案色



※この見本帳は紙に塗装していますので、実物と多少異なる場合があります。
 ※提案色以外でも日本塗料工業会色見本帳などでの調色も可能です。
 ◎印は材料費が割高になります。

Cera M Retan

- 防カビ・防藻
- 低汚染
- 高耐候

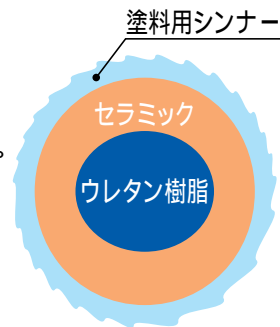
〈荷姿〉 16kgセット(ベース14.5kg・硬化剤1.5kg)
 4kgセット(ベース 3.6kg・硬化剤0.4kg)
 ※弾性硬化剤は1.5kgのみ

低汚染形セラミック変性ターペン可溶ウレタン樹脂塗料

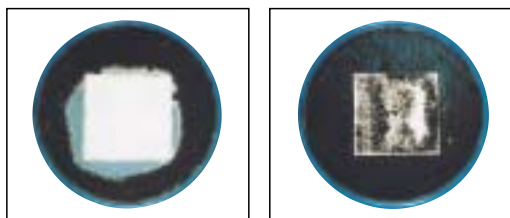
セラMレタン

【特長】

- 1) 建築物は、油性塗料、フタル酸樹脂塗料、アクリル樹脂塗料など、様々な塗料で塗装されています。
これらの旧塗膜にリフティング現象を発生させずに塗り替えられます。
- 2) 2液硬化反応により耐候性、耐薬品性、耐久性など優れた塗膜性能を発揮します。
- 3) 弱溶剤の塗料用シンナーで希釈するため作業性に優れているばかりか、より安全な作業環境で塗装ができます。
- 4) セラミック変性ですので、もちろん低汚染形です。
- 5) 防カビ、防藻性を有しています。
- 6) JIS K 5658 : 2010 3級認証品です。
- 7) 鉛・クロムを配合しておりません。



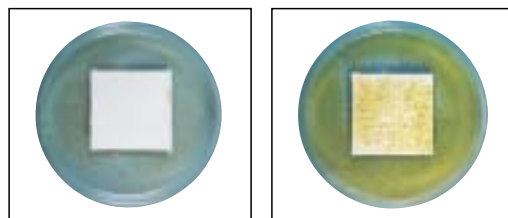
【防カビ性】



セラMレタン

アクリル樹脂塗料

【防藻性】



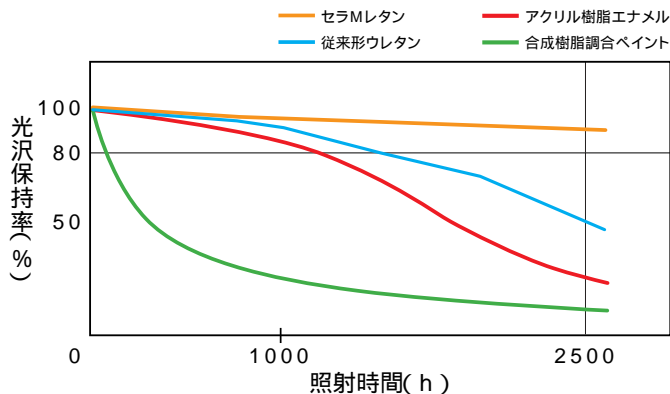
セラMレタン

アクリル樹脂塗料

【耐候性比較】

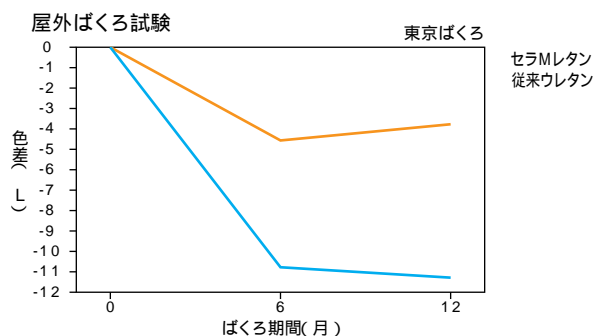
キセノンランプ法

キセノンランプ法 2500時間で光沢保持率80%以上をクリア



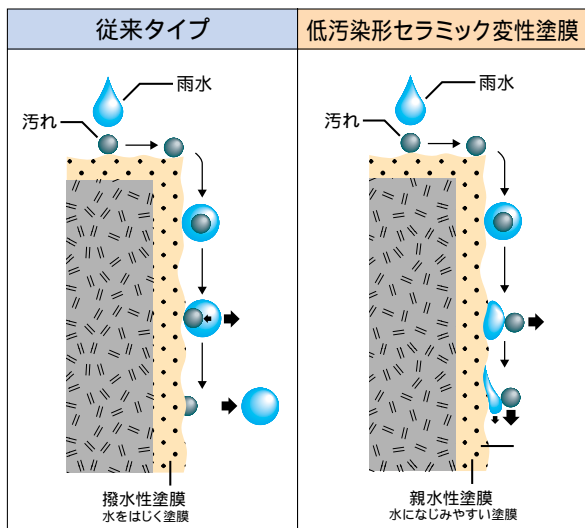
白エナメルでの試験結果です。

【耐汚染性比較】(数値が少ないほど色の变化がなく汚れにくい)



塗料	色差(ΔL)	
	6カ月後	12カ月後
セラMレタン	-4.8	-4.2
従来ウレタン	-10.7	-11.2

【塗膜図】



【JIS K 5658 : 2010 3級 試験結果】

試験項目	試験結果	試験条件	
容器の中の状態	合格	硬い塊がなく一様な状態。	
表面乾燥性	23	合格	8時間以内で表面乾燥する。
	5	合格	16時間以内で表面乾燥する。
塗膜の外観	合格	正常である。	
ポットライフ	合格	5時間	
隠ぺい率%(白及び淡彩)	96	90以上	
鏡面光沢度	85	70以上	
耐衝撃性	合格	割れ及びはがれが生じない。	
付着性(クロスカット法)	分類0	分類1または分類0である。	
重ね塗り適合性	合格	支障がない。	
耐アルカリ性	合格	異常がない。	
耐酸性	合格	異常がない。	
耐湿潤冷熱繰返し性	合格	湿潤冷熱繰返しに耐える。	
促進耐候性	合格	照射時間600時間後の光沢保持率が70%以上で、塗膜に、割れ、はがれ及び膨れがなく、試料の色差が見本品の色差と比較して大きくなく、さらに、白亜化の等級が1又は0である。	
屋外暴露耐候性	合格	光沢保持率が30%以上で、試料の色差が見本品の色差と比較して大きくなく、さらに、白亜化の等級が3、2、1又は0である。	

【標準塗装仕様】

コンクリート・モルタル・スレート面

1) 旧塗膜のテクスチャーを変えた塗替え

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23)	希釈率 (%)	塗装方法	
1	素地調整	クラック、鉄筋の露出漏水などの部分に適切な処置を施す。劣化塗膜をケレン工具(皮スキ、ワイヤーブラシ)で除去し、ホコリ、汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。				
2	下地調整材(下塗り)(中塗り)	アレスホルダーG 上水	0.8~1.5	8時間以上 7日以内	1~5	多孔質ローラー
3	上塗り(1回目)	セラMレタン (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12	4時間以上 7日以内	5~15	ハケ、ローラー
			0.14		10~30	エアレス
4	上塗り(2回目)	セラMレタン (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12	-	5~15	ハケ、ローラー
			0.14		10~30	エアレス

2) 旧塗膜のテクスチャーを活かした塗替え

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23)	希釈率 (%)	塗装方法	
1	素地調整	クラック、鉄筋の露出漏水などの部分に適切な処置を施す。劣化塗膜をケレン工具(皮スキ、ワイヤーブラシ)で除去し、ホコリ、汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。				
2	下地調整材(下塗り)(中塗り)	アレスホルダーG 上水	0.3~0.5	8時間以上 7日以内	5~10	中毛ローラー
3	上塗り(1回目)	セラMレタン (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12	4時間以上 7日以内	5~15	ハケ、ローラー
			0.14		10~30	エアレス
4	上塗り(2回目)	セラMレタン (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12	-	5~15	ハケ、ローラー
			0.14		10~30	エアレス

3) 窯業系サイディングボード(トップコートの塗り替え)

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23)	希釈率 (%)	塗装方法	
1	素地調整	サイディングボードのクラック、ボード面の脆弱層のクラックなどは適切な処置を行う。劣化塗膜やチョーキング、汚れなどを高圧水洗にて除去し、乾燥した清浄面とする。				
2	上塗り(1回目)	セラMレタン (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12	4時間以上 7日以内	5~15	ハケ、ローラー
			0.14		10~30	エアレス
3	上塗り(2回目)	セラMレタン (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12	-	5~15	ハケ、ローラー
			0.14		10~30	エアレス

注1) 下地・旧塗膜の劣化が著しい場合には上塗りの前に「エポキシシーラー」等を塗装してください。
注2) シーリング材の上に塗装を行う場合は、下記の「施工上の注意事項/施工上の注意点9.」を参照下さい。

一般鉄部(塗替え)

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23)	希釈率 (%)	塗装方法	
1	素地調整	劣化している塗膜はケレン工具で除去する。さびは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗表面を清掃する。素地露出部は工程2の下塗りに用いて補修塗りを行う。				
2	下塗り	ザウルスEX 塗料用シンナーA	0.13 0.17	4時間以上 7日以内	0~10 5~15	ローラー エアレス
3	上塗り(1回目)	セラMレタン (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12 0.14	4時間以上 7日以内	5~15 10~30	ハケ、ローラー エアレス
4	上塗り(2回目)	セラMレタン (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12 0.14	-	5~15 10~30	ハケ、ローラー エアレス

亜鉛メッキ面

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23)	希釈率 (%)	塗装方法	
1	素地調整	全面清掃、脱脂、目荒しを行い、清浄な面とする。白さびなどはワイヤーブラシ・サンドペーパーなどで除去する。				
2	下塗り	スーパーザウルス (ベース/硬化剤=9/1) 塗料用シンナーA	0.14 0.17	4時間以上 7日以内	0~10 0~10	ローラー エアレス
3	上塗り(1回目)	セラMレタン (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12 0.14	4時間以上 7日以内	5~15 10~30	ハケ、ローラー エアレス
4	上塗り(2回目)	セラMレタン (ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12 0.14	-	5~15 10~30	ハケ、ローラー エアレス

〔弾性仕上げの場合〕「弾性硬化剤使用」

コンクリート・モルタル面

1) 複層仕上げ

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23)	希釈率 (%)	塗装方法		
1	素地調整	新設	エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。pH10以下、含水率8%以下とする。				
		塗替	クラック、鉄筋の露出漏水などの部分に適切な処置を施す。劣化塗膜をケレン工具(皮スキ、ワイヤーブラシ)で除去し、ホコリ、汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。				
2	下塗り	エコカチオン シーラー	0.13 0.17	2時間以上 7日以内	0 0	ローラー エアレス	
3	中塗り	ベース塗り	アレスゴムタイルニューラフ 上水	0.6~1.3	2時間以上 7日以内	10~20	リシンガン 4.5~6.5mm
		パターン塗り	アレスゴムタイルニューラフ 水	0.6~1.3	8時間以上 7日以内	1~3	タイルガン 6~8mm
4	上塗り(1回目)	セラMレタン (ベース/弾性硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12 0.14	4時間以上 7日以内	5~15 10~30	ハケ、ローラー エアレス	
5	上塗り(2回目)	セラMレタン (ベース/弾性硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	0.12 0.14	-	5~15 10~30	ハケ、ローラー エアレス	

施工上の注意事項

- 塗料の混合比率**
- セラMレタンは2液液混合形の塗料です。使用の際は、所定の混合比率を守って塗装してください。
 - 硬化剤は、必ず専用の硬化剤を使用してください。
 - 混合比率が異なったり、専用硬化剤以外のものを使用した場合、塗膜に粘着が残るなど塗膜性能に影響を及ぼすことがありますのでご注意ください。
 - 混合比率(重量比)ベース:硬化剤=10:1
- 汚れについて**
- シーリング材、鉄サビに起因する汚れは、従来塗料と同等レベルです。
 - 建物の構造上、本来の低汚染性能が発現しない場合もあります。雨掛かりの少ない被塗面や汚れが大量に流れ落ちる被塗面では十分な汚れ防止効果が得られないこともありますのでご了承願います。
- 施工上の注意点**
- 本品はインシアネート系の硬化剤を使用していますので塗装環境、特に高湿度の環境下での塗装はなるべく避けるようにしてください。また、塗装時に塗料やスプレーミストが直接皮膚や粘膜に触れないように、またスプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。
 - 希釈シンナーは必ず、塗料用シンナーAをご使用ください。その他のシンナーを使用した場合、チヂミや再溶解などが生じる場合があります。

- ハケ、ローラー、塗装機等の洗浄には、ラッカーシンナーをご使用ください。
- ベースと硬化剤を混合した塗料は、8時間以内(23)にご使用ください。混合後、長時間経過した塗料を使用した場合、塗膜性能が低下する場合があります。
- 気温5℃以下、湿度85%以上の環境では塗装を避けてください。また、強風時や降雨、降雪が予測される場合も塗装を避けてください。
- 吸い込みが大きい下地や部分的に下地調整を行なった場合には、エポキシシーラーをご使用下さい。(VPSシーラーは不適)
- ツヤ調整剤は、1回目に「ツヤ有」、2回目に「ツヤ調整品」を塗ると、より仕上がり性が向上します。
- 1層目・2層目で異なる色を塗装する場合は、塗り重ねインターバルを1日以上空けて下さい。
- シーリング材の上には塗膜のワレや汚れが生じることがありますので塗装は避け下さい。やむなく塗装を行う場合は「シーララ」マニッシュコンクリートプライマーEPO.をご使用下さい。
- 溶剤適性の無い旧塗膜は剥れる可能性があります。
- 濃彩色仕上げの際、雑巾・ウエス等で強くこすると、色落ちや艶変化が起こる場合があります。
- 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の扱いは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 蓄熱されやすい素材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディングなど)等で、旧塗膜が弾性リシンや弾性スタック、複層仕上げの場合、環境条件によっては水や温度の影響で塗膜が剥れる場合があります。これらの場合には既存塗膜を除去する等の入念な下地処理を行ってください。

ご使用上の注意事項

- 下記の注意事項を守って下さい。
詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 予防策**
- 取り扱った作業中・乾燥中ともに換気の良い場所を使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱った作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・入り巻きタオル・長袖の作業着・手袋を着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のもとの混合・多液品の混合・希釈等しないこと。
- 在の取手を持って握ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱った後は、洗臉・手洗いがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

- 対応**
- 目に入った場合: 直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合: 直ちに拭き取り、石けんで洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸い込んだ場合: 呼吸の清浄な場所まで安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂・布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取る。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 保管**
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿度のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃棄**
- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を遵守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 施工後の安全**
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施工主様に対して安全に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立ち看板などでベンチ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症らびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本社 TEL (03)5711-8904 FAX (03)5711-8934	中部販売部 TEL (052)262-0921 FAX (052)262-0981
北海道販売部 TEL (0113)64-2424 FAX (0113)64-5757	大阪販売部 TEL (06)6203-5701 FAX (06)6203-5603
東北販売部 TEL (022)287-2721 FAX (022)288-7073	中国販売部 TEL (082)262-7101 FAX (082)264-3285
関東販売部 TEL (028)637-8200 FAX (028)637-8223	四国販売部 TEL (0877)24-5484 FAX (0877)24-4950
東京販売部 TEL (03)5711-8905 FAX (03)5711-8935	九州販売部 TEL (092)411-9901 FAX (092)411-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

ご用命は